

(1) 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金) 事業評価について

- 地域内フィーダーについては、町内のみを運行する路線が対象となります。
- 申請をしている路線は3路線（新松田駅～寄（①上茶屋経由②神山、長寿橋経由③上茶屋、長寿橋経由））
- 富士急モビリティ(株)からの運行実績の報告を確認したところ、3路線とも黒字運営となったことから、本補助金の補助対象外となりました。

新松田駅 ～寄	経由地	輸送人員	経常収益	経常費用	収支差
①	上茶屋	70,986人	48,465,575円	20,469,300円	27,996,275円
②	神山、 長寿橋	1,355人	2,383,927円	1,122,744円	1,261,183円
③	上茶屋、 長寿橋	5,641人	5,117,631円	3,235,773円	1,881,858円

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画に基づく事業)

令和 8年 1月 16日

協議会名: 松田町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
富士急モビリティ 株式会社	寄線 経由地:上茶屋 系統キロ程:往10.5km 復10.5 km 運行回数:11.5回/日	前回事業評価なし	A 事業が計画に位置づけら れたとおり、適切に実施さ れた。	A 計画に位置付けられた目標 を達成した。 目標収支率:98% 目標年間輸送人員:61,213 人 実績収支率:225.42% 実績年間輸送人員:77,982 人 分析:コロナ禍後の観光需 要の回復が要因と考えられ る。	路線バス維持に向けた交通3 施策(乗合バス運行事業費補 助、通学バス定期券助成事 業、高齢者バス定期券助成事 業)を継続して引き続き路線バ スの利用促進を目指していく。
富士急モビリティ 株式会社	寄線 経由地:神山・長寿橋 系統キロ程:往17.8km 復17.8 km 運行回数:0.5回/日				
富士急モビリティ 株式会社	寄線 経由地:上茶屋・長寿橋 系統キロ程:往17.1km 復17.1 km 運行回数:1.5回/日				

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和8年1月16日

協議会名：	松田町地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>松田町においては、広域幹線交通である鉄道を軸に、町域内に広範に路線バス、乗合タクシーにより構成される公共交通機関網が広がっている。</p> <p>しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、本町の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が生じている。</p> <p>特に「新松田寄線」は、本町内でも住民の高齢化率が高く、車を運転できない高齢者が今後も増加すると予測されている寄地区と新松田駅を結ぶ唯一のバス路線として重要性を増しているもののバス利用者数は減少傾向にあり、バス事業者の努力だけでは運行が難しい状況となっている。</p> <p>このため、地域公共交通確保維持事業により、「新松田寄線」を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要である。</p>

令和7年度 松田町地域公共交通活性化協議会（神奈川県松田町） （地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域の公共交通等の現況・課題／補助対象系統の位置付け

松田町においては、広域幹線交通である鉄道を軸に、町域内に広範に路線バス、乗合タクシーにより構成される公共交通機関網が広がっている。しかしながら、人口減少と自家用車の普及により、本町の公共交通機関の利用者は減少を続け、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が生じている。特に補助対象系統である「新松田寄線」は、本町内でも住民の高齢化率が高く、車を運転できない高齢者が今後も増加すると予測されている寄地区と新松田駅を結ぶ唯一のバス路線として重要性を増しているもののバス利用者数は減少傾向にある。

補助対象系統の需要・現況・課題／活用したデータ

当該系統は小田急電鉄新松田駅及びJR御殿場線松田駅に接続し、に接続しており、通勤、通学、通院や買い物等に利用されており、寄地区の住民にとって重要な公共交通手段となっている。人口減少や高齢化に伴い、利用者数が伸び悩んでいる。

活用しているデータ：通学バス定期、高齢者バス定期、アンケート、交通事業者の集計する乗降データ

定量的な目標

目標収支率：98.00%
目標年間輸送人員：61,213人

目標を達成するために行う事業の今年度実施状況／来年度に向けた取組の検討

路線バス維持に向けた交通3施策（乗合バス運行事業費補助、通学バス定期券助成事業、高齢者バス定期券助成事業）を継続して引き続き路線バスの利用促進を目指していく。

アピールポイント

松田町では路線バス維持に向けた交通施策を町独自の補助として実施している。

通学バス定期券助成事業：松田町が通学定期券の購入費2/3負担し、利用者は残りの3分の1の負担で済むよう購入費を軽減する事業

高齢者バス定期券助成事業：松田町内を運行する富士急モビリティの路線バスが乗降自由（乗降が町内に限る）となるの定期券販売の2/3を町が補助



面積	37.75km ²
人口（R7.4.1時点）	10,369人
15歳未満	945人
65歳以上	3,638人
高齢化率	35.08%

交通計画の計画期間

令和6年3月～
令和10年3月

協議会開催状況

- ・第1回（7年6月19日）
事業報告及び決算、国庫補助金申請、AIオンデマンド交通実証実験の運行計画の見直し
- ・第2回（7年9月27日）
路線バスのダイヤ改正、AIオンデマンド交通実証実験の運行計画の見直し
- ・第3回（7年12月11日）
富士山ライナーのダイヤ改正、路線バスのダイヤ改正、AIオンデマンド交通実証実験の運行計画の見直し
- ・第4回（8年1月16日）（書面開催）
事業評価

地域の公共交通体系図

■新松田駅（北口）

系統番号	行き先	経由地
両 嶺 豊 山 バス		
松72	関本	～合同庁舎～足柄高校～
松79	富士フィルム西門	～合同庁舎～足柄高校～関本～
松83	地藏堂	～合同庁舎～関本～矢倉沢～
富士急セビリティ		
松52	西丹沢ビジターセンター	～山北駅～玄倉～丹沢湖～中川～
松54	山北駅	～向原～高松山入口～
松59	山北駅	～向原～岸～
松14	小田原駅	～神山～下曽我駅～中堀～井細田大橋～
松04	ダイナシティ	～神山～下曽我駅～
松05	第一生命新大井事業所	～神山～
松07	新松田駅	～神山～末病バレービोटピア～第一生命～西大井～
松71	末病バレービोटピア	～神山～
松78	高尾	～神山～末病バレービोटピア～上山田～
松01	第一生命新大井事業所	～西大井～
松02	第一生命新大井事業所	～(急行)～
松11	小田原駅	～西大井～西大友～中堀～井細田大橋～
松12	小田原駅	～西大井～第一生命～西大友～中堀～
松09	国府津駅	～西大井～第一生命～西大友～下曽我駅入口～
松03	富士公園	～(特急)～
松04	富士スピードウェイ	～(特急)～(開成駅発)
松14	下大井中	～西大井～上大井～
松51	寄	～上茶屋～湯の沢団地～田代向～
松53	寄	～神山～湯の沢団地～豊沼上～長寿橋～
松54	寄	～上茶屋～湯の沢団地～豊沼上～長寿橋～



補助対象事業の実績データ

運行系統							年間輸送実績					
申請 番号	運行形態	運行系統名 (乗用タクシーの 場合は運行サービ ス名)	起点	主な 経由地	終点	キロ程 (km)	運行回数 (A) (回)	輸送人員 (B) (人)	1運行 当たり	1人平均 乗車キロ (km)	輸送 人キロ (人・km)	実車走行 キロ (km)
									輸送人員 (B)/ (A) (人/回)			
(1)	路線定期運行	寄線	新松田	上茶屋	寄	往 10.5km	3,765.5	70,986	18.8	1.11090215	78,858.5	78,858.5
						復 10.5km						
(2)	路線定期運行	寄線	新松田	神山 長寿橋	寄	往 17.8km	121.5	1,355	11.1	3.192177122	4,325.4	4,325.4
						復 17.8km						
(3)	路線定期運行	寄線	新松田	上茶屋 長寿橋	寄	往 17.1km	364.5	5,641	15.4	2.209874136	12,465.9	12,465.9
						復 17.1km						

経常収益				経常費用	市町村の別	備考
運送収入 (C) (円)	運送雑収 (D) (円)	営業外 収益 (E) (円)	計 (C)+ (D)+(E)	1系統当たり 経常費用 (乗用タクシーの 場合は運行サービ ス当たりの経常費)		
47,769,357	411,495	284,723	48,465,575	20,469,300	松田町	
2,347,586	21,479	14,862	2,383,927	1,122,744	松田町	
5,012,879	61,913	42,839	5,117,631	3,235,773	松田町	